

大安寺報

第69号



曹洞宗 圓祥山大安寺
住職：長岡 俊應
副住職：長岡 俊成
〒039-4401
青森県むつ市大畑町
本町 80 番地
Tel 0175-34-2926
Fax 0175-34-6426
E-mail info@daianji.jp
http://www.daianji.jp

名句・名言に学ぶ

何故に、この体を大切にせねばならないのか。この体を、何に使おうとしているのか。大切なのはこの一点なのです。

青山俊董(禅僧)

今年もまた、お盆が巡ってきました。コロナ禍に見舞われ、とりわけ昨年と一昨年は帰省を断念した方が多かったお盆でしたが、今年は感染対策を十分とった上で、久しぶりに帰省する方も多いのではないのでしょうか？

お盆は本来、ご先祖さまや亡き大切な方の御霊に心づくしのお供えをし、おもてなしの心でお迎える行事です。お盆の供物といえば、キュウリの馬やナスの牛が代表例です。ご先祖さまが来る時は足が早い馬に乗り、帰る時には牛に乗ってのんびり帰るように、またお供物をたくさん乗せられるように、という思いが込められているのです。そのようにしてお盆のお迎えをする中で、亡き方の在りし日の御姿を偲んだ

り、家族やご親族同士で思い出を語り合うこともあるのではないのでしょうか？。その折に、亡き方の新たな一面に気づいた経験をお持ちではありませんか？。さらに、ご先祖さまや亡き方がおられたからこそ、与えられた自らのいのちと体の尊さにあらためて思いを馳せる機会にもなるはずです。冒頭のことばの「何故に」に対する答えがそこにあります。それでは、皆さんはご自分の体を「何に使おうとして」いますか？。実はそこには明確な答えはありません。人は生まれながらにして生きる意味を与えられているわけではなく、そのことを生涯かけて問い続け、また、試行錯誤しながら実践することが求められます。

お盆はご先祖さまや亡き方の存在を心で感じながら、対話をする期間でもあります。「おかえりなさい」と迎え、最近の近況を伝え、成果を報告し、悩みを打ち明け、「いつてらっしゃい」と再会を誓うお盆は、自らの生き方を省み、そして深める大切な機会でもあるのです。

合掌

行事予告

「キャンドルライト寺ヨーガ2022秋」

キャンドルの灯が揺れる中、ヨーガ・坐禅を体験できる行事を開催します。日常を離れ、ご自身の身体と心に向き合う静かな時間を過ごしませんか？

■日時：令和四年九月三十日(金)

午後七時～九時(六時四十五分受付開始)

■場所：大安寺本堂

■定員：三十名(先着順)

■講師：中島敬子・長岡俊成

■参加費：五百円(当日申し受けます)

■持ち物：ヨガマット(バスタオル可)

／動きやすい服装で／マスク／水分補給のできるもの

■申し込み：左上の二次元コードをスマートフォンで読み取り、申し込みフォームに必要事項を入力の上で送信ください。



曹洞宗テレホン法話
曹洞宗事務庁運営
0120-508-740
携帯の方は03-3454-5410
※8月9日～15日
「とうろうに思いを込めて」
(副住職担当)

曹洞宗テレホン法話
「心の電話」
東北管区教化センター運営
022-218-4444
http://soto-tohoku.net/
tel-sermons/



各種講座のご案内(令和四年八月・九月)

※新型コロナウイルス感染症拡大の場合は中止する場合があります。詳しくは、なお、当面の間、茶話会の開催は見合わせます。

◆「月例写経・写仏会」(予約不要)

日時：八月二十八日(日)、九月二十五日(日) 午後一時～三時

内容：ミニ法話・写経・写仏

場所：中広間 参加費：三百円 備考：椅子席

◆「暁天坐禅会」(予約不要)

日時：八月七日(日)・二十一日(日)、九月四日(日)・十八日(日) 午前七時～八時 ※坐禅指導希望の方は午前六時半集合

内容：禅語紹介・坐禅

場所：本堂 参加費：無料 備考：椅子坐禅可能 服装：動きやすい服装で。(スカート・ジーンズ不可)

行事カレンダー(令和四年八月・九月)

■八月十二日(土)

「迎え火萬灯会」午後六時半～八時 ※荒天時は本堂にて

■八月十六日(火)

「孟蘭盆会施食会法要」(本堂)午前十一時

※同日午後二時より、「永代供養墓苑合同供養祭」※荒天時は本堂にて

「送り火萬灯会」午後六時半～八時※荒天時は本堂内にて

■九月二十三日(金・秋分の日)

「秋季彼岸会法要」(本堂)午前十一時

※同日午後二時より、「永代供養墓苑合同供養祭」※荒天時は本堂にて

編集後記

長引くコロナ禍ですが、現在第七波の真っ只中にあります。一方で、ワクチン接種が進んだことにより、重症化する割合が低下しているというデータがあり、収束が見えてきているとの報道もあります。あきらめず、引き続き、たゆまず感染対策に努めて参りましょう。(副住職)

次号のご案内 令和四年九月中旬に発行予定です。

仏事

Q&A 第四十四回

Q. 施食会とはどんな法要ですか？

A. 施食会は、もとは施餓鬼会と呼ばれる儀式でした。地域によりこのように呼ばれる場合がありますが、現在の曹洞宗では施食会と呼ぶのが一般的です。ある時のこと、お釈迦さまの弟子である阿難尊者が禅定に入っていると、ある餓鬼(寄る辺のない死者)が現れて、「明日、無数の餓鬼などに飲食物を施し、さらに仏・法・僧の三宝を供養してほしい。そうすれば、私を餓鬼の苦しみから救うことができる」と述べました。阿難尊者がこのことをお釈迦さまに告げると、あるお経を唱えれば、無数の餓鬼たちに施すのに十分な食物を得ることができると教えられました。阿難尊者は、教えられたとおりに餓鬼たちに供養し、彼らをその苦しみから救ったといいます。現在の施食会は、有縁・無縁を問わず、広く亡くなった生きものたちの霊を供養する儀礼として行われています。法要では、特別な棚を設けて「三界萬霊」と書かれた大きなお位牌を安置し、経典を読誦した功德などを、全ての世界の精霊たちに振り向け、その安穩をお祈りするのです。

大安寺の宗旨：曹洞宗 両本山：福井県 永平寺・神奈川県 總持寺 高祖：道元禅師 太祖：瑩山禅師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏(なむしゃかむにぶつ)